

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名	佐賀県立 唐津商業高等学校定時制
1 前年度 評価結果の概要	①資格試験や検定試験には積極的に挑戦する姿勢が見られ、一定の成果を上げることができたが、基礎学力の定着には後ろ向きな生徒が多く、粘り強い指導が必要である。 ②望ましい生活習慣や食習慣の形成には課題が残る。日頃の声かけや講演会・配布物等で内発的動機を触発する取組を継続し、健康意識や喫食率の向上に努めていく。 ③生徒指導やキャリア教育の充実を図ることで、社会的規範意識や就労意識には向上が見られた。次年度以降も生徒一人ひとりの進路希望実現のために職員全員で丁寧な指導を心がける。
2 学校教育目標	幅広い知識と教養を身に付け、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する。 ○ 社会や経済の持続的な発展に寄与できるビジネス教育 ○ ふるさと唐津の様々な資源を活用した探究活動 ○ 地域や社会、生徒の実態に応じたキャリア教育 ○ 豊かな体験学習等を通じた心の教育
3 本年度の重点目標	① 基礎学力の向上を図るため、基礎学力とは何かを明らかにし、わかる授業を実践する。 ② 教科・科目等の学習にとどまらず、資格試験や検定試験についても積極的に挑戦させる。 ③ 基礎的・汎用的能力の育成や職業観・勤労観の涵養を目指し、キャリア教育を充実させるとともに、アルバイト等への就労を推奨する。 ④ 社会人として必要な規範意識を育てるとともに、ルールやマナーを順守する態度を養う。 ⑤ 望ましい食習慣を養うことで心身ともに健康な生徒を育成するため、食育の充実に努める。

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目							
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○基礎的な文字力・計算力の定着	○文字力テスト、計算力テストを年間各7回実施(前期4回、後期3回)	・文字力テストについては4級レベルを中心に漢字の意味を理解し、正しい漢字を書き、会話や文章の中で適切に使う能力を養わせる。 ・計算力テストについては個別指導も含め、全学年、基礎的数学技能を身に付けられるように指導する。	*		*	
	○資格取得の奨励と合格率の向上	○検定試験を積極的に受験するよう促し、卒業までに3つの検定試験で3級以上の取得率80%以上	・資格取得に対する意欲を喚起するための個別指導を立案する。 ・実力に応じて上位級受験に対応するための指導体制を整える。	*		*	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自然と挨拶を交わせる生徒80%以上	・登校時や学校生活の中で、教員側から挨拶だけでなく、声かけを積極的に行い、人とのふれあいの楽しさを伝え、生徒間に浸透させる。	*		*	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの防止への取組について組織的に対応できていると回答する職員90%以上	・いじめ防止基本方針を見直し、保護者へ周知をする。 ・いじめ対応に関する研修・会議を年間2回以上行う。 ・生徒情報交換会を月に1回以上実施し、職員間で情報共有をする。	*		*	
	●★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎年度末のアンケートで、「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」生徒100% ★郷土の人材を活用した講演会等、各学年年間3時間以上	・郷土学習資料「佐賀語り」の内容に対して、一問一答形式の自作プリントを用い、佐賀や唐津の事に興味を持つ契機となるように指導する。 ・郷土について学ぶ時間を前期2時間、後期1時間(講演会、講演会に準ずる映像など)実施する。	*		*	
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	○十分な睡眠がとれている生徒50%以上 ○自身の健康保持のために、食事と運動と休養のバランスが大切であることを認識している生徒65%以上	・基本的な生活習慣状況アンケートを実施し、生徒の認識状況を把握する。 ・保健だよりや掲示物で啓発する。 ・保健指導を実施する。 ・講演会等により啓発する。	*		*	
	③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える生徒75%以上 ○「朝食を食べる」という生徒50%以上	・給食だよりを発行し、食習慣について掲示する。 ・教科等と連携して、食と健康に関する内容を取り扱い、指導する。	*		*	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限(1ヶ月80時間以下)の遵守	・学校閉庁日を設定する。 ・出退勤管理システムをこまめに点検し、観察を行い、定時出退勤を呼びかける。	*		*	
	○職員会議の効率化	○会議の効率化による職員会議の回数(月1回)維持及び各回の時間短縮	・年間計画による回数の設定、資料の事前配布、及び日常の職員間のコミュニケーションを綿密にすることで、会議の効率化を図る。	*		*	
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目							
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○進路指導の充実	○職業観・勤労観の育成 ○キャリア教育の充実と希望進路の実現	○アルバイトの就労率70%以上 ○卒業予定者の希望進路決定率100%	・アルバイトを奨励するが、あくまでも学業を優先した指導を行う。 ・担任との情報共有を頻繁に行い、生徒の指導に生かす。1、2年生についてはキャリアパスポートの充実を目指す。	*		*	

5 総合評価・次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり ・ ・ ・
----------------	--